

|      |       |    |    |     |     |
|------|-------|----|----|-----|-----|
| 科目名  | 基礎法学  | 形態 | 講義 | 開講期 | 秋学期 |
| 担当教員 | 小林 祐紀 | 単位 | 2  | 年次  | 1   |

### ＝授業科目の目標＝

私たちの社会において、法がいかに私たち市民と密接に関わっているのかということ、事例を通して理解し、説明できるようにすること、また、社会問題について法がどのような解決方法を提示しているか、法がどのように用いられているのかということ、説明できるようにすることを達成目標とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

講義前に教科書に目を通し、自分なりの問題意識を持って授業に臨むこと。また、法学の学習には現実の政治・社会の動きに関する知識と関心が不可欠なので、新聞等を読むように努めること。講義の後は、教科書や配布資料を参考にしつつ、講義中に作成したノートを振り返り、学習内容の理解を深めること。

### ＝授業内容＝

- 1回 インTRODクシヨン（授業内容・学習の方法・評価方法）、法学への招待（第1章）
- 2回 法とは何か？①〔法と社会生活、法と道徳〕
- 3回 法とは何か？②〔法と強制、法の目的、権利と義務〕
- 4回 法の仕組み〔法源としての法、成文法の分類〕
- 5回 契約は絶対に守るべき？〔民法〕（第2章）
- 6回 もしケガをさせてしまったら？〔民法〕（第3章）
- 7回 愛は大切、だけど自分も大切〔民法〕（第4章）
- 8回 身近な生活と仕事の中で〔民法〕（第5章）
- 9回 民法と刑法はどう違う？〔刑法〕（第6章）
- 10回 交通事故を起こしたらどんな罪になる？〔刑法〕（第7章）
- 11回 はじめての選挙、大切な一票〔憲法〕（第8章）
- 12回 情報化社会で自分を守るために〔公法〕（第9章）
- 13回 世界の中の日本に生きる〔国際法〕（第10章）
- 14回 どこで生まれても一人の人間として〔国際法〕（第11章）
- 15回 まとめ

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験（80点）、授業への取り組み（20点）。なお、授業態度（特に私語）が悪い場合には厳しく対処する。

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：『プレステップ法学』（第3版）  
 著者名：池田真朗（編）  
 出版社：弘文堂  
 ISBN：978-4-335-00094-2